

羅臼町幼小中高の教育 企画編

幼稚園・小学校・中学校・高校の平成29年度の取り組みについて紹介します。

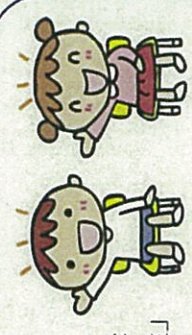
平成29年度 羅臼幼稚園の教育

【企画編】

教育要領に基づき、将来良き社会人としての素地を養い、豊かな感性や自立心を育成し、幼児一人ひとりの望ましい成長を促し、豊かな人間性やたくましさの育成など「生きる力」の基礎を培う教育の実施・改善を行う。

幼小の円滑な接続の推進

- 幼稚園と小学校との交流をより一層深化させ、互恵性のある円滑な接続を推進するために互いの教育を理解し見通す「連続性・一貫性」を捉えた接続カリキュラムの編成実施。
- 年長午後保育の充実～小学校入学を念願に、みんなと一緒に教師の話を聞いたり、行動したり、きまわりを守ったりしながら楽しく活動する。



ESD教育

○年間計画を教育課程に位置づけ、自然とのかわりを通して幼児が共に育ち合う体験活動の充実。

「ビジターセンター見学、郷土資料館見学、キャンプ場（ドングリ拾い）」
「海で遊ぼう、市場見学、農林漁業体験実習館見学、各施設周辺の散策、クマ学習」



食育活動

- 食べることが喜びにつながる食指導～季節の食材を知り、食べ物と自然を大切に育てる心を育む。（フキの油炒め、ヨモギのホットケーキ、イカ飯、イモ団子など）
- PTA食育～各学年の役員さんを中心に地域でとれた農産物魚介類などを使った献立を考えてもらう。（シーフードカレー、魚介や肉の炭焼きなど）



自ら考えようとするとする気持ちを作る

○様々な遊びの中で、友達と一緒に試行錯誤しながら遊びが充実するための環境構成や援助を探索。

- ・「楽しい」「おもしろい」「やってみよう」と思ったり感じたりできる環境の工夫。
- ・自分とは違う友達の意見や考えを取り入れ、互いの良さや違いに気づき認めあうことが出来る援助。



人と人・学びと学びを
つなぎ 結ぶ

第29号
発行
平成29年6月26日
羅臼町教育委員会
羅臼町栄町 87-2129

運動会・体育祭

羅臼幼稚園	6月25日(日)	春松幼稚園	7月9日(日)
羅臼小学校	6月11日(日)	⇒ 雨天のため	6月13日(火) 実施
春松小学校	6月11日(日)	⇒ 雨天のため	6月12日(月) 実施
羅臼中学校	7月16日(日)	春松中学校	6月4日(日) 実施

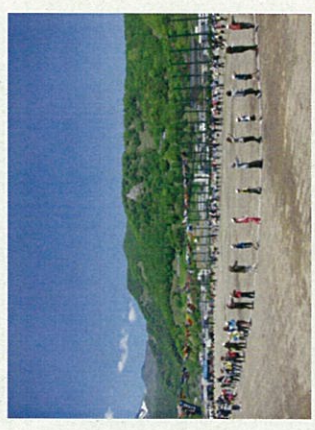
町内の運動会・体育祭の予定及び実施済みは、上記の通りです。現在までの土日の天気は、あいにくの雨模様、そのなかでなんとか実施した春松中学校。延期した春松小学校は翌日に、羅臼小学校は2日後の開催となりました。

12日(月)に行われた春松小学校の運動会では、良い天気でしたが、多少の風と寒さの中子供たちは元気に競技をしていました。月曜日でしたがたたくさんの保護者の方が応援に来ていました。

13日(火)に行われた羅臼小学校の運動会は、快晴の中行われました。さすが寒くもなく、また、火曜日にもかかわらずたたくさんの保護者の方々も応援に来ていました。雨が降ったりやんだりのあいにくの天気でしたが無事終了することができました。今年で最後の体育祭、それぞれの団長が士気をしっかかりと保ちました。育祭になりました。



春松小学校



羅臼小学校



春松中学校

重点目標

「元気な子」「やさしい子」「がんばる子」の子ども像をうけた重点教育目標として
 「元気よくあいさつができ、なかよく遊べる子」とする。

春松幼稚園は、春松地区・峯浜地区の5保育園を統合して新設された。新設して10年が経過し、どの子も
 のびのび仲良く生き生きと園生活を送っている。

重点教育目標は、引き続き「元気よくあいさつ」「なかよく遊ぶ」とする。「元気なあいさつ」は基本的な生
 活習慣の中でも最も基本とすべきものであり、人間関係づくりに際しても基礎となるものである。園児がこれ
 から生涯にわたって生きていくうえでの最初に身につけるべきこととして「元気なあいさつ」を考え、それ
 より人とのつながりが豊かに始まることを願っている。

また、春松幼稚園区の幼稚園・小学校・中学校の共通の取り組みとして「元気なあいさつ」が設定され、羅
 臼PTA連合会の共通スローガンとして、平成22年度から重点的に取り組むこととなった。人間関係づく
 りの重要な第一歩として、気持ちよい一日の始まりとして、「あいさつ」をしっかりと子どもたちに身に付け
 させたいと考える。

さらに、だれとも「なかよく遊ぶ」ことも重要であり、幼稚園教育の重視すべき基礎である。幼稚園教育の
 本質である「豊かな体験」の中核となるのは「遊び」であり、たくさんの子どもたちとのかかわり体験が重要
 である。身の回りの人や様々なことと「かかわる」力を伸ばす上で「遊び」を重視し、豊かな遊びをどの子に
 も実現したいと願う。

それにより、『生きる力』の最も基礎を育てる、幼稚園教育の目標に迫ることが出来るのではないかと考え
 重点とした。これをもとに5領域の指導の観点をとおさえ、各領域のねらいと指導内容を重点化した指導計画の
 作成につとめ、めざす子ども像に向かって指導を進めたい。

今年度の重点

1 みんなが「つながる」「あいさつ」「ことば」を重視する

- 幼・小・中・高一貫したとりくみ「元気なあいさつ」の徹底を図る。
- つながりを広げる言葉を身につけ、「伝える力」を育てる。(教師の意識的な取り組み)

2 のびのび体を動かし、しなやかな身体づくりを意識する

- 楽しくたっぴりと体を動かし、身体づくりにつながる遊びを工夫して取り入れる。
- 生活に必要な基本的な習慣や行動、態度をしっかりと身につけさせる。

3 家庭・学校・地域とたしかにつながる

- 保護者との連携を大切に、共に子どもたちの自己肯定感を高める。
- 小学校との連携で、遊びから学びの円滑な接続を図る。(園で育てることを明確化して)



どの子もたしかに育つ 特色ある「春松ならではの」幼児教育をすすめる

- 個に応じた確かなみとりと、全職員での共通の適切な援助。
- ふるさとの特色ある自然や人・もの・こと等の環境を活かし、豊かな体験活動を。

平成29年度 羅臼町立羅臼小学校の教育 《企画編》

本校の学校教育目標

- 思いやる子 (あたたかさ 情)
- 考える子 (かしこさ 知)
- がんばる子 (ねばり強さ 意・体)

校訓

明るく強い子ども
 創造性豊かな子ども
 勤労を尊ぶ子ども

学校経営の重点

豊かな学びを創り楽しむ子どもを育てるために「基礎基本の定着」と「学び方を学ぶ」
 本年度のテーマ「深化」

羅臼小学校 学びの視点

学力の向上

基礎学力の定着

- 「学びタイム」「アフタータイム」(放課後学習)の実施
- 算数におけるITの授業や習熟度別の授業の実施
- 毎朝のドリル学習
- サマーテスト・ウィンターテスト
- 生涯学習につながる家庭学習の取組

読書活動の充実

- 朝の読書
- 「こぐまちゃん」サークルによる読み聞かせ

授業力の向上 公開研究会の開催

基本的な生活習慣の定着

- 1 いい顔 いい声 いい動き
 ・児童：しい顔しい声しい動き発見カード
 ・思いやりの標語運動
- 2 異年齢集団
 ・たてわり活動(清掃、運動会など)
 ・実行委員会活動
 ・クラブ活動
- 3 生活アンケート
 ・集計・分析し、保護者への公表と改善
 ・個人面談週間の実施

健康・安全教育の充実

- 1 食育
 ・給食指導、フッ化物洗口、歯科指導、肥満指導
 ・栄養教諭による食育指導
- 2 生と性の学習
- 3 体力の向上
 ・スポーツラタイム、体づくり運動の充実
- 4 早寝・早起き・朝ごはん運動の推進
- 5 生活リズムチェックシートの活用
- 6 避難訓練の実施
 ・火災・地震・津波対応の訓練
 ・安全意識の醸成

安全指導、子ども110番の家訪問
 不審者情報の発信

外国語活動・総合的な学習の時間の充実

- 1 外国語活動(英語活動)
 ・A L Tの活用
 ・教材の工夫と評価等の実践研究
 ・全学年での実施
- 2 ふるさと学習
 ・地域素材・人材・施設の活用
 ・「学びの連続」
 ・羅臼幼稚園・羅臼中学校との連携
 ・副読本「知床学」の活用
 ・北方領土学習の充実
- 3 情報教育
 ・I C Tの活用
- 4 情報モラル・マナーの指導体制整備
 ・ユネスコスクール活動

平成29年度

春松小学校の教育【企画編】

学校の教育目標

郷土の発展に役立つ実践力のある社会人となるために、勤労を尊び、仲良く助け合い、豊かな情操と高い知性をもち、何事もやり抜く心身ともに健康な子供を育てる。

目指す子ども像

- ・元気な子（たくましい子） ⇒ 心身の健康・勤労・克己心
- ・考える子（考えを深める子） ⇒ 基礎力・思考力・実践力
- ・やさしい子（思いやりのある子） ⇒ 生命尊重の精神・共生力・郷土愛

今年度の重点目標

豊かなかかわりを通して、自立の力と共生の心を育む

元気な子	考える子	やさしい子
<p>【重点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎自らつくる力の育成 心身の健やかな成長を促す健康・安全教育の推進 ○体力・運動能力の向上 ①運動に親しみ、基礎的・基本的技能の定着を図る体育授業の充実 ②めあてをもち、継続的に体力づくりに取り組む態度の育成 (縄跳び・外遊び・徒歩通学の奨励等) ③新体力テストの実施と指導の工夫改善 ○発達段階に応じた計画的な健康教育の実施 ①基本的な生活習慣の確立 ②健康・安全に対する自己管理能力の育成 ③食に関する指導の充実 ○安全・安心・清潔な学校生活の確立 ①児童の危険回避能力を高める安全教育の充実 ②清掃指導の充実と環境美化意識の向上 ③学級係・児童委員会活動の活性化 	<p>【重点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎自ら学ぶ力の育成 学習意欲の向上と確かな学力を定着させる教育の推進 ○基礎的・基本的な学習内容の確実な定着 ①言語活動の充実による言語能力の育成 ②ねらいを明確にしたわかる授業の創造 ③算数を中心としたITによる個を伸ばす指導の充実 ④学習規律の徹底 ⑤家庭学習習慣の定着と質の向上 ○学ぶ意欲の向上 ①問題解決的・体験的な学習の充実 ②総合的な学習の時間の充実(ESDの推進) ○校内研修の充実 ①授業研究を中心とした組織的・計画的な研修の充実 ②外部講師を招請した授業研究の充実 ③研修会・研究会への参加と普及還元による職能向上 ④新学習指導要領の円滑な実施にむけての取組 	<p>【重点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎自らかかわる力の育成 人権尊重の精神を基盤とした共生の心を醸成する教育の推進 ○豊かで温かい人間関係の醸成 ①子供の居場所と絆づくりを推進する学級経営の充実 ②言語環境の整備(「挨拶・笑顔・言葉遣い」の意識化) ③生徒指導の充実 ④異年齢集団活動の充実 ○道徳教育の充実 ①全教育活動による道徳性の育成 ②道徳的実践を促す道徳科の多様な指導方法の確立と評価の改善・工夫 ③道徳教育推進教師を中心とした指導体制の充実 ④道徳科授業の公開と家庭・地域との連携 ○心を耕す読書活動の推進 ①読書指導の充実と読書習慣形成の推進 ②家庭・関係機関との連携による読書環境の整備

平成29年度

羅臼町立羅臼中学校

《企画編》



教育の理念

羅臼に生き、ふるさとに誇りが持てる生徒の育成



【校訓】

健康 探究 責任

教育目標

明るく健康な心身を持ち《健康》自ら考え《探究》協力し、責任を持って最後までやり抜く《責任》生徒の育成

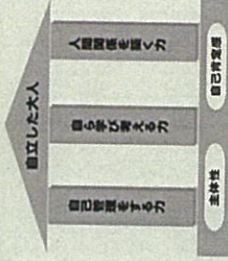
【今年度の重点】 自立した大人になるための基礎を身に付けた生徒の育成

【身に付けさせる3つの力とその基盤】

- 1 自己管理をする力
 - 2 自ら学び考える力
 - 3 人間関係を築く力
- 基盤: 主体性 自己肯定感

【重点目標】

- 1 自分の未来を切り拓くキャリア教育の充実【自己管理をする力】【人間関係を築く力】
＝「なりたい自分」と「なれる自分」を広げる＝
- 2 安心して生活できる空気の醸成【人間関係を築く力】
＝認め合う、助け合う、学び合う＝
- 3 学習規律の徹底【自ら学び考える力】【自己管理をする力】
＝規律なくして学力の向上なし＝
- 4 主体的、対話的で深い学びの過程を大切にしたい授業改善【自ら学び考える力】
＝わかる、できる喜びの実感＝
- 5 望ましい生活習慣の徹底【自己管理をする力】
＝時を守り、場を清め、礼を正す＝



- ①授業に意欲的に取り組めるよう、「分かる・できる」授業を目指す。
- ②学習規律を守り、クラスで高め合う。
- ③人の前で自分の意見や考えをしっかりと発表することができる。
- ④適切な評価を行い、褒めることで生徒の意欲を引き出す。
- ⑤基礎基本の定着に向けた家庭学習を奨励する。

学習面では

教育目標

主体的に時代・ふるさとを拓く
心情豊かでたくましく生きる生徒の育成

校訓

自主

友愛

健康

平成29年度 春松中学校の教育

今年度の重点課題

学力を高め、豊かな人間関係づくりをはぐくむ学校づくり
～互いの考えを尊重し合い、自らの考えを深める活動の充実を目指して～

- ①「早寝・早起き・朝ご飯運動十家庭学習」を意識した基本的生活習慣の育成
- ②良好な対人関係の維持、基本的モラルや社会生活上のルール、マナーを尊重する態度の育成
- ③生徒の意欲と創意、自主性や主体性を生かした体験的活動の推進
- ④子供一人一人の深い理解と信頼関係に立脚した生徒指導の推進
- ⑤健康・体力作りを意識した生活習慣の育成
- ⑥感謝「ありがとう」と言える風土の醸成

生活面では



平成29年度

北海道羅臼高等学校の教育

〈企画編〉



〈校訓〉

知床の自然の如く
厳しく美しく
羅臼岳の如く
悠然と

〈校章〉尾白鷲が天空を飛翔する姿に、校歌に託された『からだつよく、ころささえ』の理念を示す

小中高一貫ふるさとキャリア教育を実施していまはH27～H29



ふるさとキャリア教育概要

人口減少問題を踏まえ、家庭生活の大切さや子供を育てることの意義などについての学習を充実するとともに、地域振興を担う人材を育成するため自治体や地域の産業界など関係機関の支援を受けながら、各校が連携して、早期からの体系的なキャリア教育に取り組む。

主な取り組み

1 地域の良さや地域での生活を営むことの意義について理解の進化

【地域大好き！プロジェクト】

○小中高の連携による地域の特性や教育資源を生かしたキャリア教育の推進

- ・各校におけるキャリア教育の取り組みの分析、課題の明確化
- ・地域の特性や教育資源を生かした取り組みの実施

ア 提案型プロジェクト→ 町長講話後地域活性化アイデアを提言、町議会に参加

イ 体験型プロジェクト→ インターンシップ、医療看護系職場見学

ウ 運営型プロジェクト→ 知床開き、いさり火祭りボランティア参加

・地域人材等を活用したキャリア教育に関する「講演会の実施」

ふるさと羅臼再発見、観光パンフレット作成、漁協青年部・婦人部の取り組み等

・児童生徒が振り返りながら自己の将来や職業を考えるキャリアアノートの作成



期待される成果

- ①郷土に対する理解愛着が深まる
- ②郷土で生活を営むことへの興味関心が高まる
- ③地域ぐるみでキャリア教育を支援する体制を構築できる

2 将来、道内各地で家庭を持ち子供を育てることの意義について考える

【子どもダイスキ！プロジェクト】

・「家庭や子育てに関する座談会」の実施 高校生と地域による意見交換

・「次代の親づくりのための出前講座」 家庭科副読本の活用

期待される成果 ①道内各地で家庭を持ち、子どもを育てることの理解が深まる